

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間							
トレンド分析		1年 アパレル造形科パタンナーコース		期区分	通年	時間数 85					
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)							
	必修	実技80%、講義20%		なし							
科目概要	既存のブランドや市場トレンドの分析を行うことで分析能力、ブランドの考え方や企画プロデュース能力を身につける。										
習得項目	ブランドや市場のトレンド分析を行うことでブランドに必要なコンセプトワーク、プランディング等を演習し、実際に商品企画を行いMAP作成やプロデュース能力を身につける。また、それに付随する分析能力やビジネス用語を身につける。実際にチームでブランド運営を行い、プランディング、商品企画、プレス、販売までを一環して行いトレンド分析能力、ブランド企画、運営能力、コミュニケーション能力を身につける。										
評価方法	授業態度・MAP作成・トレンド分析時に使用する用語や企画のテスト、プレゼン、レポート。										
授業 計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月 日)						
	1	オリエンテーション。1年を通しての課題説明。生徒の学びたいデザイン演習、自己紹介など。			4月 18日						
	2	コンセプトMAP イメージMAP その他トレンド分析に必要な用語の説明。			4月 25日						
	3	ホームページや課題作品例を通してブランドコンセプト、シーズンテーマの資料集めコンセプトMAP作成			5月 9日						
	4	課外授業・マーケティング、価格、どんなアイテムがあるかを考察。			5月 16日						
	5	課外授業 市場調査・分析 レポート作成			5月 23日						
	6	課外授業の報告会 トレンド分析MAP作成			5月 30日						
	7	広告宣伝とは?それに基づいたPOP UP コラボレーション企画について			6月 6日						
	8	アイテム構成について考察、作成。デザイン画作成。			6月 13日						
	9	素材について、デザインに基いた素材を考察。素材生地サーチ課外授業。			6月 20日						
	10	デザイン画作成。カラー作成。修正等。			6月 27日						
	11	仕様書の作成。			7月 4日						
	12	各項目のまとめ、表紙、装丁など。			7月 11日						
	13	プレゼン発表会。MAP提出。			7月 25日						
	14	オリエンテーション。後期授業内容の説明。			9月 5日						
	15	グループ、役割分担。チームにてプランディング資料の作成。			9月 12日						
	16	コンセプトワーク ブランディングMAP イメージMAP 作成。			9月 26日						
	17	広告、販促計画・出店計画			10月 3日						
	18	スタイリング計画・MD計画・商品企画・数量設定			10月 17日						
	19	デザイン画・仕様書作成			10月 24日						
	20	ショップベース・間取り図作成・ショップインテリア・ゾーニング			10月 31日						
	21	事業計画(収支計画)			11月 7日						
	22	グループごとにプランディングMAPプレゼン			11月 14日						
	23	素材選び・材料買い出し			11月 21日						
	24	制作			11月 28日						
	25	企画商品制作			12月 5日～1月 16日						
	26	梱包・陳列・ショッパー準備、制作			1月 23日						
	27	販売実習			1月 30日						
	28	プランディングまとめ			2月 6日						
	29	プランディングプレゼン・レポート提出			2月 13日						
	30	片付け日			2月 20日						
	31	補習日			2月 27日						
講師区分	非常勤	講師名	渡邊	関係実務経験	アパレルデザイン企画歴20年						

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
服飾技術実習		1年 アパレル造形科パタンナーコース	期区分	通年	時間数 377.5			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	実技70%・講義30%	なし					
科目概要	平面で製図した型紙を用紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用する、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得を身につける。							
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率							
授業 計画	ステップ	学習内容・単元習得目標		期間(月 日)				
	縫製1	用具の説明(洋裁用具の使用の仕方説明)		4月13日				
	縫製2	ミシン講義		4月13日				
	縫製3	ピンクッション製作		4月13日～14日				
	縫製4	基礎縫い(手縫い技法の部分縫い)		4月21日～5月12日				
	縫製5	トートバッグ		4月21日～4月28日				
	縫製6	セミタイトスカート		5月11日～5月26日				
	縫製7	シャツ		6月2日～6月29日				
	縫製8	ワンピース		6月30日～7月21日				
	製図1	採寸		4月19日				
	製図2	基礎・原型		4月20日～5月10日				
	製図3	ダーツの展開		5月11日～5月25日				
	製図4	スカート各種		6月7日～6月8日				
	製図5	ドロップショルダーシャツ		5月18日				
	製図6	ワンピース各種		6月14日～6月15日				
	製図7	部分製図各種		6月21日～6月22日				
	縫製9	パンツ		9月7日～10月18日				
	縫製10	ベスト		10月19日～11月30日				
	製図7	パンツ		9月6日				
	製図8	ベスト		9月28日				
	製図9	ブラウス各種		9月7日～9月14日				
	製図10	スカート各種		9月21日～9月27日				
	製図11	ジャケット(パネル切り替え)		10月4日				
	縫製11	修了製作		12月1日～3月2日				
講師区分	常勤	講師名	柳澤・上野	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間							
ドレーピング I		1年 アパレル造形科パタンナーコース	期区分	通年	時間数	95				
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)							
	必修	実技80%・講義20%	なし							
科目概要	寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布(シーチング)を当てて組み、型紙を作る									
習得項目	<ul style="list-style-type: none"> ・布(シーチング)、ピンの扱いを学ぶ。 ・実際のボディーのフォルムに合わせながら、ライン、ダーツを取り形を表現していく。 ・ダーツを理解しながらパターンの仕組みを理解する。 									
評価方法	<p>1課題評価 フォルムに合わせてラインが見られているのか、布目が合っているのか、ピンの打ち方、布の扱い方等。</p> <p>2授業態度 出席率・集中度等。</p> <p>*総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習の対象。</p>									
授業 計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)					
	1	オリエンテーション			4月12日					
	2	ピンクション			4月19日					
	3	トートバッグ			4月26日					
	4	ドレーピングについて、地の目直し			5月10日					
	5	前・後原型1 サイドダーツ			5月17日～6月7日					
	6	前・後原型2 ショルダーダーツ			6月14日～7月5日					
	7	トレース			7月12日～7月26日					
	8	セミタイトスカート 前身頃			9月6日～9月13日					
	9	〃 後ろ身頃			9月13日～9月20日					
	10	〃 線入れ・カット			9月27日					
	11	〃 ベルト・組み立て			10月4日～10月11日					
	12	ヨーク・フレンチスリーブブラウス 前ヨーク			10月18日					
	13	〃 前身頃			10月25日					
	14	〃 後ろヨーク			11月1日					
	15	〃 後ろ身頃			11月8日					
	16	〃 線入れ・カット			11月15日					
	17	〃 組み立て			11月22日～11月29日					
	18	ショールカラーブラウス 続きヨーク			12月6日					
	19	〃 前身頃			12月13日					
	20	〃 後ろ身頃			12月20日					
	21	〃 線入れ・カット			1月17日					
	22	〃 組み立て			1月24日					
	23	〃 裄			1月31日～2月28日					
講師区分	常勤	講師名	花澤	関係実務経験	アパレル企業にてパタンナー及び生産管理のアシスタントとして勤務					

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間						
スタイル画		1年 アパレル造形科パタンナーコース	期区分	前期	時間数	35			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)						
	必修 or 選択	実技実習	なし						
科目概要	1.基本デッサンで造形力・視覚的感性の向上をはかりバランス感覚やセンスを磨く。 2.ファッションスタイル画の描画テクニックと表現力を身につける。(コンテスト作品分析)								
習得項目	ファッションスタイル画表現技法 デザイン、ドローイング用具の使い方								
評価方法	授業姿勢、製作課題・作品評価								
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)				
		授業オリエンテーション・デッサン用具準備			4月13日				
	1 ベーシック トレーニング	石膏デッサン(構図・描き始め)デモンストレーション			4月21日				
		石膏デッサン(大きな形と修正)			4月27日				
		石膏デッサン(陰影の作り方)			5月12日				
		石膏デッサン(描き込み)			5月19日				
		石膏デッサン(細部・仕上げ)			5月26日				
		人物クロッキー会(人物全身構図・バランス・造形の捉え方)			6月2日				
	2 表現 トレーニング	スタイル画(基本フレーム・ヌード9頭身)			6月9日				
		スタイル画(スタイル画模写)			6月16日				
		スタイル画(フリーポーズ・着装・衣服の動き)			6月23日				
		スタイル画(共通モチーフ・モノトーン淡彩着彩)			6月30日				
		スタイル画(マーカー着彩)			7月7日				
		スタイル画(コラージュ①)			7月14日				
		スタイル画(コラージュ②)			7月21日				
講師区分	常勤	講師名	石川	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験を持ち、実務の経験からスタイル画表現について指導する				

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間						
カラー		1年 アパレル造形科パタンナーコース	期区分	前期	時間数	35			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)						
	必修	オンライン講義100%	なし						
科目概要	AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけたイメージに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー(人それぞれに似合う色)概論を学ぶ。								
習得項目	文部科学省後援AFT色彩検定3級の習得及び、習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。さらに、表現したいファッショニメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。パーソナルカラーの概要を理解し、販売やメイクアップ、ヘアカラー、ファッショニデザイン、ファッショニスタイリングなどそれぞれの分野に役立つ知識を習得する(色彩応用編)。								
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。								
授業 計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)				
	1	授業オリエンテーション(色彩検定の概要や取得目的を知る)			4月15日				
	2	色の表示(色の分類と三属性、PCCS)			4月15日～4月22日				
	3	色彩心理(色の心理的効果、色の視覚効果)			5月6日				
	4	配色イメージ、ファッショニ色彩、流行色について			5月13日				
	5	色彩調和			5月13日～5月27日				
	6	光と色(色が見えるしくみ、照明と色の見え方、混色と混色の身近な応用例)			6月3日～6月10日				
	7	検定直前対策(出題ポイントを項目[全8項目]ごとに解説)			6月17日～6月24日				
	8	イメージに合わせたファッショニカラーコーディネート			7月1日～7月15日				
	9	パーソナルカラー概論と仕事での取り入れ方			7月22日				
講師区分	非常勤	講師名	堀川	関係実務経験	文部科学省後援色彩検定協会認定 色彩講師として、色彩検定やパーソナルカラー検定対策を行う他、ファッショニ・ブライダル・メイク・アニメ・ゲーム等各分野の企業や学校の色彩講義を担当。				

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
服飾史		1年 アパレル造形科パタンナーコース	期区分	前期	時間数 35			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	オンライン講義	なし					
科目概要	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。							
習得項目	作品製作において資料として活用する。 現代の衣服に置き換えて考える。 デザインの参考にする。							
評価方法	レポート、課題提出。 平常点 以上の平均点							
授業 計画	ステップ	学習内容・単元習得目標		期間(月日)				
	1	衣服の起源		4月15日				
	2	衣服の形 素材		4月22日				
	3	古代エジプト メソポタミア		5月6日				
	4	古代ギリシャ ローマ		5月13日				
	5	ビザンチン ロマネスク		5月20日				
	6	ゴシック ルネサンス		5月27日				
	7	バロック ロココ		6月3日				
	8	フランス革命 ナポレオン レポート課題		6月10日				
	9	近代 市民革命		6月3日				
	10	世紀末		6月24日				
	11	20世紀		7月1日				
	12	アールヌーボー アール・デコ		7月8日				
	13	1930年代		7月15日				
	14	第二次世界大戦		7月22日				
講師区分	常勤	講師名	古賀	関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間					
デザイン演習		1年 アパレル造形科パタンナーコース	期区分	後期	時間数 57.5			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)					
	必修	実習実技	なし					
科目概要	想像力、造形的バランス感覚を身につけ 自身のクリエーションについて、プレゼンテーション力を養う。							
習得項目	ファッショング用語、素材やテクニックへの知見を高め、イメージと表現力を身につける。 様々な視点による課題解決、プレゼン力を身につける。 アパレル用語(デザイン・アイテム名称)の知識習得							
評価方法	授業姿勢、製作課題評価							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標		期間(月日)				
	1 表現トレーニング	ペーパーアート(ヘッドレス①課題説明・デザイン考察)		9月1日				
		ペーパーアート(ヘッドレス②デザインラフ・テクニカル検証)		9月8日				
		ペーパーアート(ヘッドレス③作品製作)		9月15日				
		ペーパーアート(ヘッドレス④作品製作)		9月22日				
		ペーパーアート(ヘッドレス⑤作品製作・仕上げ)		9月29日				
		作品撮影・ポートフォリオ		10月6日				
		ポートフォリオ製作①(テーマ・コンセプト・イメージ収集)		10月13日				
	2 応用表現	ポートフォリオ製作②		10月20日				
		講評会(ペーパーアート)		11月10日				
		基礎科ショート・デザイン考察		11月17日				
		〃		11月24日				
		講座「アパレル・デザイン①」著名なコレクション		12月1日				
		講座「アパレル・デザイン②」製品デザイン(仕様書・生産技術)		12月8日				
		講座「アイテムデザイン」製品デザイン①(ニット、カットソー)		12月15日				
3 基礎知識	講座「アイテムデザイン」製品デザイン②(布帛トップス)		12月22日					
	講座「アイテムデザイン」製品デザイン③(ボトムス)		1月12日					
	終了テスト(アパレル用語試験「デザイン・アイテム名称」)		1月19日					
	追試・テスト返却		1月28日					
講師区分	常勤	講師名	石川	関係実務経験	■アパレルノハレルノワイン、プロダクトノワインに携わった経験を持ち、実務の経験からスタイル画表現について指導する			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間							
就職ガイダンス		1年 アパレル造形科パタンナーコース	期区分	後期	時間数	60				
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)							
	必修	オンライン講義	株式会社アズノウアズ							
科目概要	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。									
習得項目	自己分析や企業・職種研究によって仕事への理解を深め、希望する企業や職種を定める。年々早まる採用スケジュールと足並みをそろえた就職活動を行えるよう、採用試験に関する基本的な知識を身につける。									
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 (出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。									
授業 計 画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月 日)					
	1	オリエンテーション(授業説明、就活の流れ、就職意識調査)			9月2日					
	2	業界研究:アパレル業界の職種、業種について			9月9日					
	3	業界研究:衣装関係の職種、仕事の流れ			9月16日					
	4	企業研究:企業情報の調べ方、求人情報の見方			9月30日					
	5	バス遠足			10月7日					
	6	ビジネスマナー(挨拶、姿勢、服装、コミュニケーションの常識)			10月14日					
	7	自己分析:マインドマップの作成			10月21日					
	8	自己分析:過去エピソードの整理			10月28日					
	9	運動会			11月4日					
	10	卒業生による仕事紹介			11月11日					
	11	ビジネスマナー(メールの送り方)、マイナビ登録			11月18日					
	12	履歴書作成(記入ルール、注意事項)			11月25日					
	13	内定者の就職体験談			12月2日					
	14	ポートフォリオ作成について、準備の仕方			12月9日					
	15	選考課題、実技試験について、準備の仕方			12月16日					
	16	WEBエントリーシート、説明会やインターンへの参加手順			12月23日					
	17	自己PR、長所の書き方			1月13日					
	18	志望動機の書き方			1月20日					
	19	企業説明会			1月27日					
	20	FS期間			2月3日～3月3日					
講師区分	常勤	講師名	久野	関係実務経験	パタンナー、衣装製作、イラストレーター及び、雑誌・webメディアの編集・ライター実務経験者					

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス	履修期間						
ファッショントピック		1年 アパレル造形科パターンコース	期区分	後期	時間数	60			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(企業名)						
	必修	オンライン講義	なし						
科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、生地の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識								
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。								
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点								
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標			期間(月日)				
	1	アパレル素材とは 1			9月2日				
	2	アパレル素材とは 2			9月9日				
	3	繊維の分類 名称 天然繊維			9月16日				
	4	繊維の分類 名称 化学繊維			9月30日				
	5	糸について			10月7日				
	6	織物の三原組織			10月14日				
	7	基本的な柄の名前			10月21日～10月28日				
	8	秋冬の布			11月4日				
	9	編み物について レポート 素材の扱い			11月11日				
	10	裏地 芯地について			11月18日				
	11	加工について			11月25日				
	12	デニムとジーンズ			12月2日				
	13	レースについて レポート 2 リサーチ			12月9日				
	14	皮と毛皮			12月16日				
	15	不織布 フェルト			12月23日				
	16	染色 プリント			1月13日				
	17	繊維の見分け方			1月20日				
	18	新しい素材			1月27日				
	19	FS期間			2月3日～3月3日				
講師区分	常勤	講師名	古賀	関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家				

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象		履修期間							
PCワーク		2年 アパレル造形科パターンコース		期間区分	後期	時間数 52.5					
選択区分	履修区分	授業形態		企業連携(連携企業)							
	必修	講義50%、実技50%		なし							
科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト(Word・Excel・Powerpoint)の使い方の習得。基本的なタイピングからWordを使ったプレスリースの作成技術を身に付け、Excelを使って表やグラフを作成できるようにし、文章・表・グラフの作成技術を応用しPowerpointを使って効果的なプレゼンテーションを行うことの習得を目指す。										
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文章作成を行えるようにする。 3.Excelを使った表やグラフの作成、関数を使った収支表の作成方法を身に付ける。 4.Powerpointを使ったプレゼンテーションデータを作成し、それを使ったプレゼンテーションを行う。										
評価方法	授業態度、提出物、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。										
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標			期間(月日)						
	1	Windowsパソコンの基本操作・タイピングの基本			9月5日						
	2	Wordを使ったビジネス文章作成・商品クレジットの入力			9月12日						
	3	Wordを使った画像・表入り文章の作成			9月26日						
	4	Wordを使ったプレスリースの作成・PDFデータへの変換			10月3日						
	5	Excelを使った表の作成(罫線の引き方・セルの色塗り)			10月17日						
	6	Excelを使った四則計算を含んだ請求書の作成			10月24日						
	7	Excelを使った関数を含んだ表の作成(SUM・AVERAGE等)			10月31日						
	8	Excelを使ったグラフの作成(円・棒グラフ)			11月7日						
	9	Excelを使ったグラフの作成(折れ線グラフ・行と列の入れ替え)			11月14日						
	10	Excelを使ったグラフを含めたレポート文書の作成			11月21日						
	11	Powerpointを使ったプレゼンデータの作成(課題発表・基本)			11月28日						
	12	Powerpointを使ったプレゼンデータの作成(アニメーション、発表者ツールの使い方)			12月5日						
	13	PowerPointの発表			12月12日						
	14	Word・Excelの復習(総ざらい)			12月19日						
	15	Word・Excelのテスト			1月16日						
	16	ビジネスメールの作成・送受信(添付ファイルの容量)			1月23日						
	17	Wordを使ったファッショショナーの招待状+添え状の作成			1月30日						
	18	ショー準備期間			2月6日						
	19	ショー準備期間			2月13日						
	20	ショー片付け日			2月20日						
	21	補習期間			2月27日						
講師区分	常勤	講師名	鶴本	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や入社研修でのIT技術指導の経験						

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象	履修期間							
アパレルCAD実習		2年 アパレル造形科パターンナーコース	期間区分	通年	時間数	85				
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(連携企業)							
	必修	実技80%・講義20%	なし							
科目概要	ショートカットキーの基礎トレーニングをしてから、各アイテムの製図をしながら、正確にパターンメーキングをしていく技術を身に付けると共に、スピードアップの訓練をして行く。									
習得項目	1. 全てのショートカットキーを把握する。 2. PC画面上でパターン全体の実寸イメージを描くことが出来る。 3. 製図のスピードを速める訓練の効果が出ている。									
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績□									
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標			期間(月日)					
	1	CAD基本操作説明・練習			4月18日					
	2	池田第一原型作成			4月25日					
	3	各自、個人第一原型を作成			5月9日					
	4	池田第二原型作成			5月16日					
	5	各自、個人第二原型を作成			5月23日					
	6	基本型ブラウス製図			5月30日					
	7	ジーンズ製図			6月6日					
	8	ジーンズ製図			6月13日					
	9	ジーンズ製図・プロダクトパターン作成・プロットアウト・マーキング			6月20日					
	10	シャツ 製図			6月27日					
	11	シャツ 製図			7月4日					
	12	シャツ 製図・プロダクトパターン作成・プロットアウト・マーキング			7月11日					
	13	基本型4面ジャケットを製図			9月5日					
	14	"			9月12日					
	15	"			9月26日					
	16	"			10月3日					
	17	"			10月17日					
	18	基本型3面構成ジャケット製図			10月24日					
	19	"			10月31日					
	20	"			11月7日					
	21	"			11月14日					
	22	プロダクトパターン作成・マーキング			11月21日					
	23	"			11月28日					
	24	卒業製作としてオリジナルデザインの服を上下製図□			12月5日					
	25	"			12月12日					
	26	"			12月19日					
	27	トワルチェック後、CADで補正・工業用パターン作成			1月16日					
	28	"			1月23日					
	29	"			1月30日					
		また就活用として前期内に、就職実践講座にて、パターンナーコースは、生産管理の仕事内容についての説明をし、								
		縫製指示書・ハンガーイラスト・マーキング及びグレーディング方法をCADにて指導して行きます。(火曜日の午後)								
講師区分	常勤	講師名	リビ 裕子	関係実務経験	アパレル企業でパターンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 繼続して40年					

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間									
職業実践・企画・トレンド		2年 アパレル造形科バタンナーコース		期区分	通年	時間数	190						
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)									
	必修	実技60% 講義40%		(株)アミナコレクション (株)クレヨン									
科目概要	トレンドやマーケットの流れをとらえ、ブランドのコンセプトやマーケットでのポジショニングを理解し商品企画を行う。 企業の仕事についての理解を深めるため、実践的に産学授業を取り込みアパレル業界の今を体験する。												
習得項目	1.コレクションブランド分析を行い、ファッショントレンドの流れの把握と産学先のブランドに対しての知識習得。 2.今シーズンのトレンドの流れを踏まえ、ブランド企画力を養う(ポートフォリオ作成)/プレゼン能力習得 3.デザイナー、テクニカル科は企画スキル向上、バタンナー科はCADスキル向上												
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 (出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。												
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)							
	1	授業内容説明・スケジュール確認等 / ポートフォリオ作成説明				4月19日							
	2	(株)アミナコレクション 課題説明 「今年らしいエスニックスタイルの提案(仮)」				4月26日							
	3	(株)アミナコレクション ショップリサーチ・課題ワーク / ポートフォリオ作成				5月10日～5月31日							
	4	(株)アミナコレクション プrezent/レポート/グループディスカッション練習				6月7日～6月21日							
	5	(株)クレヨン 課題説明 「2022AW ロイスクレヨンデザインの提案(仮)」				6月28日							
	6	(株)クレヨン ショップリサーチ・課題ワーク / 企業選考対策の課題作成				7月5日～7月19日							
	7	(株)クレヨン プrezent/レポート				9月6日～9月20日							
	8	(株)ベネフィット 課題説明 「課題内容検討中」 / ブランド企業課題説明				9月27日							
	9	(株)ベネフィット ショップリサーチ・課題ワーク / ブランド企業課題準備・プレゼン				10月4日～11月15日							
	10	(株)ベネフィットプレゼン/レポート				11月22日～11月29日							
	11	(株)アズノウアズ 課題説明 「リメイク 課題内容検討中」				12月6日							
	12	(株)アズノウアズ ショップリサーチ・課題ワーク / SDGs関連事業講義・課題				12月13日～1月17日							
	13	(株)アズノウアズ プrezent/レポート				1月24日～1月31日							
	14	DPTショー準備期間				2月1日～							
講師区分	常勤	講師名	吉岡/リビ/久野	関係実務経験	MD/デザイナー経験、他								

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象	履修期間					
	服飾造形実習	2年 アパレル造形科パターンコース	期間区分	前期、後期 I	時間数 265			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(連携企業)					
	必修	実技80%・講義20%	なし					
科目概要	1.ジーンズ・シャツの製図・オリジナルデザインにアレンジして造形 2.総裏仕立て4面構成ジャケット製図、総裏仕立て3面構成ジャケット製図 3.オリジナルデザインジャケット製図・造形 4.ディティールの部分縫い							
習得項目	1、各アイテムの基本シルエットを理解し、応用デザインの製図が出来る。 2、各アイテムの基本縫製を理解し、応用デザインの縫製も出来る。							
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績							
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標			期間(月日)			
	1	ジーンズ製図(基本型シルエット)1/2サイズ、(自己サイズシルエットを実寸大で)			4/13～4/15			
	2	シーチング仮縫い・補正、パターントレース			4/20～4/22			
	3	ジーンズのディティール製図(基本型・自己サイズ)、工業用パターン作成			4/27～5/6			
	4	ジーンズ縫製 生地裁断・芯貼り・ロックがけ			5/11～5/13			
	5	ジーンズ縫製・完成・提出まで			5/18～5/20			
	6	採寸後、自分の第一・第二原型を作成してから、シャツの製図1/2サイズ			6/1～6/3			
	7	シャツの製図自分のサイズでオリジナルデザイン・工業用パターン			6/8～6/10			
	8	シャツ縫製 生地裁断・芯貼り			6/15～6/17			
	9	シャツ縫製 本縫い			6/22～7/15			
	10	シャツ縫製 本縫い・仕上げ・提出			7/20～7/22			
	11	基本型4面構成ジャケット製図			9/1～9/7			
	12	基本型3面構成ジャケット製図			9/8～9/14			
	13	自分の原型を使用し、3・4面構成のどちらかを選んで製図			9/15～9/21			
	14	シーチング裁断・ミシン縫い・仮縫いチェック・補正			9/22～9/29			
	15	オリジナルデザインジャケットにアレンジしてパターンを完成・工業用パターンを作成			9/30～10/6			
	16	シーチングのジャケットを使って部分縫い(ポケット・袖口あき見せ・ベント)			10/12～10/14			
	17	生地裁断(表地・裏地・芯地)・芯貼り・テープ貼り			10/19～10/21			
	18	本縫い			10/26～11/25			
	19	〃 完成・次週内提出			11/30			
講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でパターンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象	履修期間					
	卒業製作実習	2年 アパレル造形科パタンナーコース	期間区分	後期Ⅱ	時間数 112.5			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(連携企業)					
	必修	実技80%・講義20%	なし					
科目概要	卒業作品制作をする。							
習得項目	1、各アイテムの応用デザインの製図が自由に出来る。 2、各アイテムの応用デザインの縫製も工夫が出来るようになる。							
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績							
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標			期間(月日)			
	1	卒業作品のデザインに基づき、各アイテムの製図や素材加工などの試作をする。			12/1～12/7			
	2	トワルチェック・補正・工業用パターン作成			12/8～12/14			
	3	生地裁断・芯貼り・ロックかけなど本縫いの準備をする。			12/15～12/21			
	4	本縫い			12/22～1/11			
	5	〃			1/12～1/18			
	6	〃			11/19～1/26			
	7	〃 付属品などの小物類を制作し、全てを完成させる。			1/27			
講師区分	常勤	講師名	リビ 裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年			

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象	履修期間							
就職キャリアデザイン		2年アパレル造形科パターンコース	期間区分	前期	時間数	32.5				
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(連携企業)							
	必修	講義(オンライン)80 演習(対面)20	株式会社エス・グルーヴ、他							
科目概要	自己理解と自己分析を進め、自己効力感を高めていく。人生百年時代を迎える変化の激しい時代に対して、より良い進路を選択し、就職及びキャリア形成のために必要な知識とマナーを習得する。									
習得項目	自己理解に時間をかける。就職活動の際に必要となる、書類作成の手順や面接マナーを学び、志望企業の内定獲得を目指す。面接対策では学生同士で模擬面接を行なう、一般的な面接の流れを理解する。また、国際社会や業界への理解を深めることで、就職後のキャリア形成に役立つ知識を身につける。									
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「模擬面接」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる)出席率が65%未満の場合は留年。									
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標			実施予定日					
	1	自己理解・自己分析の進め方、適性テストも交えて自分自身の理解と自己効力感を高める作業を行う。			4月18日					
	2	効果的な自己PRの作成の仕方、自己PR文の作成演習			4月25日					
	3	応募書類作成(各項目の記述解説)			5月9日					
	4	応募、エントリー情報の調べ方、求人票のチェックポイント			5月16日					
	5	企業説明会(株式会社エス・グルーヴ、他)			5月23日					
	6	web面接練習(1分自己紹介)			5月30日					
	7	面接解説(よくある出題と対策)				6月6日				
	8	web面接対策(一般的なweb面接ツールの解説、マナー指導)			6月13日					
	9	模擬面接【対面+オンライン】			6月20日					
	10	今後の世界情勢、国内情勢からキャリアの組み立てを考える			6月27日					
	11	業界研究、企業研究の進め方			7月4日					
	12	今後の就職活動、転職、キャリアアップについて(課題発表)			7月11日					
		学校行事			7月25日					
担当教員										
講師区分	名	講師略歴			企業・当該実務経験者					
常勤	副田 勝久	都内百貨店に勤務し、アパレル販売、バイヤー、催事担当、社員教育等の実務経験を有する。			○					

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象		履修期間									
工業パターン実習		2年 アパレル造形科パターンナーコース		期間区分	通年	時間数	92.5						
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(連携企業)									
	必修	実技80%・講義20%		なし									
科目概要	(試験) パターン検定2級・3級のテキストを使用して、パターン展開の基礎から、応用までのパターンメーキングを指導する。 筆記試験の問題集をもとに、マークシート100問の練習をさせる。 実技試験は、実寸製図・シーチングのピン組み立て・完成パターン作成の指導をする。 (実習)												
習得項目	1.パターン検定2級・3級の筆記・実技試験に合格をする。 2.今まで習得した知識を基に、オリジナルデザインの服の製図が出来る。 3.アウターのディティールのパターンが理解できる。 4.工業用パターン作成時、ミスが無いように作成出来る。												
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績												
授業 計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月 日)							
	1	パターン検定の受験の仕方と勉強方法について説明				4月14日							
	2	ブラウス製図 1.				4月21日							
	3	シーチングのピン組み立て				4月28日							
	4	完成パターンの作成を練習する				5月12日							
	5	ブラウス製図 2.				5月19日							
	6	シーチングのピン組み立て				5月26日							
	7	完成パターンの作成を練習する				6月2日							
	8	ジャケットの製図				6月9日、16日							
	9	シーチングのピン組み立て				6月23日、30日							
	10	シーチングのピン組み立てチェック修正				7月7日							
	11	完成パターンの作成を練習する				7月14日、21日							
		パターン検定2級を受ける2・3年生には、夏休みに実技指導を5～6回行います。				8月							
	12	パターン検定2級の実技模擬試験を行う				9月1日、8日							
	13	オリジナルデザインジャケットの製図				9月15日、22日							
	14	シーチングピン組み立て				9月29日							
	15	シーチングピン組み立てチェック				10月6日							
	16	工業用パターン作成				10月13日、20日							
	17	パターン検定3級課題ブラウスの製図1.		この時点でPM検定2級の合否がまだ出ていない。		10月28日							
	18	パターン検定3級課題ブラウスの製図2.				11月11日							
	19	シーチングピン組み立てチェック・確認				11月18日							
	20	パターン検定3級の模擬試験を行う				11月25日							
	21	オリジナルデザインの服を製図をする。				12月1日、8日							
	22	シーチングにトレース・裁断				12月15日							
	23	シーチングをミシン縫いして仮縫いチェックを受ける。				12月22日							
	24	CADにスキャニングする。				1月12日							
	25	CADでディティールのパターン作成				1月19日							
	26	CADで全ての工業用パターンを作成				1月26日							
講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でパターンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年								

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間									
卒業制作ファッションショー制作実習		2年 アパレル造形科バタンナーコース		期区分		前期	時間数 35						
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)									
	必修	実技80%・講義20%		なし									
科目概要	ショー企画、全体会議 ファッションショーのテーマ及びカテゴリーを考える。衣装デザインを準備する。												
習得項目	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力を養う。												
評価方法	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力での評価												
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月 日)							
	1	リーダー決定・全体テーマ出し				4月15日							
	2	仮決定・プレゼンテーションを準備する。理事長にプレゼンテーションをする。				4月22日～5月20日							
	3	カテゴリー案出し。仮決定。				5月27日～6月10日							
	4	担当分け。プレゼンテーションを準備。理事長にプレゼンテーションをする。				6月17日～6月24日							
	5	カテゴリーごとに分かれて打ち合わせをする。				7月1日～7月15日							
	6	ラフな卒制デザイン画提出				7月22日							
講師区分	常勤	講師名	鷺.花澤.内山. ジヨノー	関係実務経験	コレクションブランドのデザイナー、舞台衣装のデザイナー、他								

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象	履修期間					
ドレーピング II		2年 アパレル造形科バタンナーコース	期間区分	後期	時間数 60			
選択区分	必修 or 選択	授業形態	企業連携(連携企業)					
	必修	実技80%・講義20%	なし					
科目概要	1.ドレーピングの基礎を復習 2.ブラウスのドレーピング 3.ワンピースのドレーピング 4.ジャケットのドレーピング 5.テーラードカラーのドレーピングをする							
習得項目	1.デザインによる、ピン打ちテクニックの習得 2.洋服の緩みを入れながら、各アイテムのシルエットを立体裁断で具現化して形つくる。 3.ドレーピング後に、シーチングのラインチェック&パターン用紙にトレースをしてから再度ピン組み立てをして確認し、初めて完成となる事を学ぶ。 4.アウターのピン打ちテクニックの習得 5.洋服の緩みを考えながら、アウターのシルエットをドレーピングで形つくる。							
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績							
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標			期間(月日)			
	1	ドレーピングの基礎練習(簡単にダーツ・フリル・ギャザー・フレアのピン打ち練習)			9月2日			
	2	ブラウスのドレーピング、緩みを入れながら、身頃を作成し、AH(アームホール)を描く。			9月9日			
	3	〃、袖の製図と袖付けのピン打ちを学ぶ			9月16日			
	4	〃、襟付け(フラットカラー)のピン打ちを学ぶ			9月30日			
	5	ワンピースのドレーピング、身頃はPLでローライズ切り替え・衿はフラットカラー・袖は袖口カフス付きバフスリーブ			10月14日			
	6	〃			10月21日			
	7	〃			10月28日			
	8	〃、チェック後シーチングを外してライン修正・縫い代整理・パターン用紙にトレースする			11月11日			
	9	〃			11月18日			
	10	〃、再度ボディにピン打ちして完成・採点			11月25日			
	11	2面構成ジャケットのドレーピング 前身頃・後身頃			12月2日			
	12	〃、AH(アームホール)を描く			12月9日			
	13	テーラードカラーのドレーピング			12月16日			
	14	一度外して、縫い代整理・製図用紙にトレース			12月23日			
	15	再度ボディにピン組み立て・二枚袖の製図			1月13日			
	16	〃 二枚袖をシーチングにトレース&裁断			1月20日			
	17	袖付けのピン打ち 採点			1月27日			
講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でバタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 繼続して40年			